

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスゆめきら		公表日		令和 8年 3月 31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> 個室が少ない 外で体を動かすスペースがない 限られたスペース内でのクールダウンが必要 パーテーションや個室・段ボールハウス等の活用を行っている 利用人数に対して狭い
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8		<ul style="list-style-type: none"> 適切な児童指導員の配置を行っている。 送迎が煩雑なため最低限の職員数を配置するように努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も蓮花の会の事業所と連携を図り、職員の調整を行っていく。 	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	1	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的支援や個室・クールダウンスペースの提供など、構造化された環境を整えている。 廊下が狭く、玄関も段差がありバリアフリーではない 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な方が利用できる環境作りを行ってきたい。 	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8		<ul style="list-style-type: none"> 毎日、消毒や換気・掃除を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に合わせて、机等の配置を変え活動や場面に合わせた環境作りを行っている。 	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて個室の提供や段ボールハウスにてクールダウンスペースを設けている 	<ul style="list-style-type: none"> 個室は、要望があれば使用できるようにしている。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 会議には多人数が参加できる日にちに開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も様々な職員が参加できる時間で会議を実施していきたい。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の意見を受け、改善に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、保護者様からの意見について話し合いを行ったりしながら改善に努めていきたい。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 職員間での情報共有を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング等で気付きがあれば、意見交換を行えるようにしていきたい。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> 導入の検討を行ってきたい。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 研修の希望をとり受講する機会を多く設けている。また、法人で虐待防止の研修やBCP研修などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 兼務職員やパートの方々も研修を受けられる機会を多く設けたい。 	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ホームページにて公表を行っている。 毎年、支援プログラムの見直しを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、支援プログラムの見直し、ホームページへの公表を行ってきたい。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングの前には子どもと振り返りや頑張りたい事を話し合い、子どもの意見を反映させることができるようにしている。 保護者のニーズを聞き、本人が達成できる目標設定を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、子ども達や保護者様の意見を取り入れながら計画の作成を行ってきたい。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			<ul style="list-style-type: none"> 今後も職員間の会話を大切にしながら、情報共有を行ってきたい。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 支援会議はチームで行い、ミーティングにて日々の気付きの共有を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングでの情報共有の他に、情報をファイルし見直しもできるよう努めている。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> 持参された検査結果を閲覧した際はサインを行うようにし、関わる職員全員が情報を共有できるよう努めている。 	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 5領域に沿った支援計画の作成を行っている 支援目標の作成は抽象的ではなく具体的に作成を行い、様々な職員が分かる支援目標の作成を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も5領域に沿った計画の作成に努めていきたい。 	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・活動案は多数の職員で意見を出し合っている	・今後もチームで意見を出し合い立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・固定化しないように、外出活動・製作活動・調理活動・季節の活動などを取り入れ偏りのないよう活動計画を行っている	・今後も活動内容が固定化しないよう配慮していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・活動の際には個別での目標と集団を意識した目標作成を行っている	・今後も個別と集団の目標を組み合わせた計画作成を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			・今後も支援前に行っているミーティングを実施し、チームの連携を図り支援を行っていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・送迎対応があるため支援終了後に職員が集まって話を行う時間を設けることが出来ない日が多い	・翌日のミーティングで改めて情報共有を行っていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			・できるだけ事は記録に残すよう意識しており、その後話し合う機会を設けているので今後も同様に努めていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・6カ月に1度、モニタリングを行っている	・今後も規定に沿ったモニタリング期間を遵守し、適切な見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		・4つの基本活動が何なのかを知らない	・4つの基本活動について、表にしてまとめて周知し、全職員の理解を深められるようにする。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8			・チームで話し合いを行い、個に合った支援方法を考え実施していきたい。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児童発達管理責任者や常勤の職員が参加を行っている。 ・兼務の職員は仕事の都合上、参加できないことが多い。	・今後も積極的に参加を行っていく。また、法人の他事業所と連携を図り、兼務職員の参加も行えるよう体制を整えていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・様々な機関と連携を図るように努めている ・医療や主治医ともしっかり連携を図りたい	・まずは相談支援員との連携を密にし、多職種との連携、情報共有を行なっていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・送迎の際に日々の様子の情報共有を行うように努めている。気になるところがあれば電話にて連絡調整を行っている。 ・急な下校時刻の変更になった際に、マチコメールへの登録が出来ないため情報が来ない時がある	・基本学校から配布されたプリントを確認しており、その他マチコメールでの情報収集も行っている。また、直接学校に問い合わせを行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		・児童発達と連携を図り、情報の共有に努めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・卒業後に障害福祉サービスに移行された利用児がいない	・市町の中学校との情報共有が十分に行えるよう努めていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	・スーパーバイズや助言をうける機会があると支援の手助けになりありがたい	・研修の機会を設けることができるよう、機関との連携を図りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	・もっとたくさんの放課後等デイサービスや地域の子どもたちと交流する機会を設けていきたい	・他機関との連携を図り、交流を持てる場を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・自立支援協議会の子ども支援部会に参加している ・常勤職員は参加できているがその他の職員が参加できていないことが現状である	・法人の他事業所との連携を図り、兼務職員も研修に参加できる体制を整えていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			・送迎時の対話や必要に応じて電話等を活用し、情報共有、共通理解については意識することに努めている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・研修の案内を行っている	・今後もファミリー会等、家族参加の場を設ける際は、案内を行っていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約の際に、丁寧な説明を行うように努めている	・今後も丁寧な説明を意識し、必ず説明した内容に了承を得られたか確認を行いながら説明を進めていくよう努めたい。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			・モニタリング前には、目標の評価、振り返り、次の目標等の聞き取りを実施し、子どもの意思や考えを確認する場面を設けているので、引き続き実施していきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・毎回、支援計画の説明を行い、保護者の方の同意を得て新しい支援計画の作成を行っている	・計画の説明は、必ず対面にて実施しているので、今後も説明をする際は、書面に目を通してもらいながら同意を得られるよう努めたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・相談があった際には助言を行うようにし、相談支援事業所との連携を図っている。	・保護者からの相談があった際は、思いに寄り添い、事業所で良かった支援方法などの情報提供を行ってみたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・父母の会やファミリー会を行う機会が少なく感じる。法人と連携を行い、保護者のニーズに合わせ交流の機会を設けたい	・保護者に開催してほしい内容の聞き取りを行いたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			・今後も、まずは契約時に丁寧な説明を行っていく。また、その後も意見しやすい環境を整えていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・毎月のおたよりの配布を行っており、QRコードを読み取ることでホームページのブログを見れるように対策を行っている	・今後も、毎月のお便りにHPのQRコードを掲載し、常に見ることができるようにしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			・新任が入られた際は、必ず説明を行っている。今後も、取り扱いには十分に留意していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			・視覚支援を行ったりしながら理解を深められるよう配慮している。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・法人にて祭りを開催し地域の方や利用者様との交流の機会を設けている	・法人開催の行事では、他事業所への声掛けを積極的に行ってみたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・マニュアル表は策定しているため、保護者の方への周知を行いたい	・マニュアル表については、配布を行い周知に努めたい。また、曜日の偏りのないよう配慮していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			・今後も様々な訓練を取り入れながら定期的に実施を行ってみたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			・まずは契約時に確認を行い、服薬の変更等があった際は、情報共有ができるよう努めていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・食物アレルギーのある児童については、診断書をいただき保管している	・アレルギー保持者には、契約時に検査結果を提出してもらい、2年程経過した頃に再検査をして頂くようにする。 ・アレルギー保持者の情報は、職員間での共有と室内に分かりやすいよう視覚的提示を行っているため継続したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		・蘇生の仕方を学ぶ研修が開催された際は、積極的に参加したい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		・マニュアル表の配布を行いたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・ヒヤリハットがあった際は書面に残し、会議を行い対策に努めている	・今後も些細なことでも、ヒヤリハットをあげていく意識を持ち、会議を行いながら対策に努めていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・法人での全体会議にて実施されているので、今後も積極的に参加を行ってみたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	・身体拘束をする児童がいない ・契約の説明の際に、切迫性・非代替性・一時性がある際に身体拘束をする場合があることを説明し了承を得ている。 ・個別支援計画にも記載を行っている。	・今後も対面にて説明、また、個別支援計画への記載を行う。 ・拘束の必要性がある場合は、必ず保護者様と話をを行う。	